

次世代エネルギー社会の「プロセス安全管理」第3回研究会 「エネルギーストレージ」第2回研究会 —危機管理と災害対応、および電カストレージ—

【日時】平成25年10月29日(火)14:30~30日(水)18:00
(参考:幹事会 10/29 13:00-14:30 宿泊施設)

【会場】10/29 ホテル壮観、(Tel. 022-354-2181)

<http://www.ooedoosen.jp/sohkan/>

(981-0212 宮城県宮城郡松島町磯崎字浜 1-1)

10/30 東北電力株式会社 女川原子力発電所

<http://www.tohoku-epco.co.jp/genshi/onagawa/>

(986-2221 宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田 1)

【主催】化学工学会次世代エネルギー社会検討委員会(次世代委[1])、電気学会レジリエントエネルギーシステム研究会

【共催】化学工学会 熱工学部会、粒子・流体プロセス部会、環境部会、材料界面部会、エネルギー部会

【開催趣旨】当委員会ではエネルギーシステムにおける「プロセスの安全管理」、「エネルギーストレージ」を重要な研究事項ととらえ検討を進めております。今回、テーマを共有している電気学会レジリエントシステム研究会と共催で研究会・見学会を開催いたします。第1日目はエネルギーストレージワークショップを開催します。テーマとして「北海道地域をモデルケースとした再生可能エネルギーの導入ポテンシャルとエネルギーストレージの定量的検討」[2]を予定しております。事前に課題を配信し、当日全員がグループに分かれて検討を行い、成果を共有します。その過程でストレージ技術の課題抽出、問題理解を進めます。第2日は東日本大震災の震源地に最も近接した女川原発を訪問し震災当時の危機管理、災害対応、被災者保護の事例を学びます。あわせて津波被災地を伺います。皆様のご参加をお待ちいたしております。

化学工学会次世代エネルギー社会検討委員会委員長 加藤之貴(東工大)
電気学会レジリエントエネルギーシステム研究会委員長 中田俊彦(東北大)

[1] 化学工学会次世代エネルギー社会検討委員会:H24 に発足した当委員会では、化学工学を軸足とした専門家集団として、エネルギーの技術や選択肢にかかる情報や論点を網羅的に整理し、次世代エネルギー社会に適したエネルギー技術の利用可能性と研究課題について論理的整合性、客観性の高い議論の場を提供していきます。得られた技術情報は再利用可能な形で整理し、個人・組織・社会のエネルギーとの関わり方の指針として提供する産学公民への情報発信を目指しております。部会ヒアリングを通して、手始めに、テーマ1: エネルギーストレージ、テーマ2: エネルギーシステムの新設・保全・診断・運用・更新を選定し検討を進めております。

[2] 化学工学会、電気学会の視点から検討します。北海道は送電グリッド境界が明快で、全道電力消費が6GW、現在再生可能エネルギー(風力)が系統連系の上限とされる0.36GWの80%ほど入り、再生可能の導入が現実的な上限に達することが将来考えられます。再生可能エネルギーの変動吸収のためにストレージ技術を導入することで、どこまで導入ポテンシャルを拡張できるかを両学会の見識もって両研究会で討論します。

プログラム

開催前 エネルギーストレージワークショップ「北海道地域をモデルケースとした再生可能エネルギーの導入ポテンシャルとエネルギーストレージの定量的検討を化学工学会、電気学会の視点から行う」の課題を配信、個人で検討

10月29日(火)①ワークショップ

- (参考:幹事会 10/29 13:00-14:30 宿泊施設)
- 14:30 ホテル壮観に各自集合(松島駅からシャトルバスあり、詳細は後日連絡。ホテルチェックインは15:00のため、荷物を預けて会議室へ)
- 15:00-18:00 エネルギーストレージワークショップ、宿泊施設内会議室
・エネルギーストレージシステム導入最適化のグループ検討
・成果発表会
- 19:00 夕食
- 21:00 意見交換会

10月30日(水)②バス見学会

- 8:15 バス出発
- 8:30 JR松島駅、参加者お迎え(参考:仙台8:01→松島8:25)
- 8:30-11:30 松島以東の被災地見学(後日案内)
- 11:55 女川原子力PRセンター着
- 12:00-12:30 昼食
- 12:30-13:10 発電所への入構に関わる手続き(本人確認)
- 13:10-13:20 移動
- 13:20 女川原子力発電所着
- 13:20-14:00 概要説明
- 14:00-14:50 構内一巡ご見学(防潮堤、大容量電源装置などを見学)
- 14:50-15:20 質疑応答
- 15:20-15:30 移動
- 15:30 女川原子力PRセンター着後、出発
- 18:00頃 仙台駅着、解散(交通事情で時刻が前後します。旅程設定にご留意ください。)

【定員】(先着順)30名

【参加方法】研究会の趣旨に同意でき、全てのプログラムに参加できる方。

参加申込は電子メールにて madoka@nr.titech.ac.jp 宛にご氏名、氏名フリガナ、所属、化学工学会会員番号、化学工学会所属部会、電子メールアドレス、連絡電話番号、を表題「次世代研究会」として10月4日(金)17:00までにご連絡願います。

【参加費用】(当日、現地で徴収いたします。お釣りが無きようご協力願います。)

●宿泊費:12,750円

キャンセル料:10/11 13:00まで無料、10/11 13:00以後は100%を指定口座に振込支払い願います。キャンセルは必ず、速やかに古林(東北大)に連絡願います→Tel:022-795-6987, E-mail: furubayashi@m.tohoku.ac.jp

●意見交換会費:全員4,250円

●研究会参加費:化学工学会正会員、学生会員、レジリエント委員:無料、■非会員(化学工学会の会員番号を持たない方):25,000円

【お問合せ】

●参加申し込み:化学工学会 次世代エネルギー社会検討委員会事務局 大泉(東京工業大学原子炉工学研究所加藤研究室) Tel 03-5734-2967、madoka@nr.titech.ac.jp

●宿泊キャンセル連絡:古林敬顕 東北大学大学院工学研究科 技術社会システム専攻、Tel & Fax: 022-795-6987, E-mail: furubayashi@m.tohoku.ac.jp

宿泊施設案内

ホテル壮観、(Tel. 022-354-2181)
<http://www.oedoonsen.jp/sohkan/>
 (981-0212 宮城県宮城郡松島町磯崎字浜 1-1)



電車での道のり

